



母校創立100周年まで一年!

■ 縣陵百周年記念事業

■ 縣陵アカデミー館(仮称)の新築

現同窓会館を解体して、新学習会館を建築します。

■ 学校教育環境整備事業

ICT(情報通信技術)環境の整備ニーズ、生徒の諸活動支援、交換留学事業などの仕組みを構築します。

■ 地域への謝恩

アカデミー館新築に合わせて地下水を掘削し、災害時には広く地域に水を供給します。

■ 記念誌、写真集、人物誌の発刊

80年史に、20年分を補足し、新たに縣陵百周年記念の写真集・人物誌を発行します。

■ 記念式典

2023年9月30日(土)於 まつもと市民芸術館、母校体育館、松本市立美術館

■ その他

縣陵百周年記念の併催イベントとして、美術展、写真展、ゴルフコンペを計画しています。

会報

あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所:
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒157-0061 東京都
世田谷区北烏山 7-2-18
インテリアARAKI内
TEL 03-3308-5610
発行人:佐藤 悦雄

主なトピック

- 【特集】スペシャル対談…………… 8・9面
- 元サッカー部顧問、現県サッカー協会会長 松田正巳氏
- 松本山雅 テクニカルダイレクター 下條佳明氏
- 第55回縣陵東京同窓会・懇親会…………… 10・11面

混乱・対策・進化

東京同窓会長

佐藤悦雄(高10回卒)



コロナのマイナス影響は続いていますが、昨年は東京オリンピック・パラリンピックが無観客ながら成功裏に終わりました。今年は冬期オリンピック・パラリンピックが北京で同様に無観客で開催されました。このように日本、世界は少しずつ混

会長と杉村校長様等が参加された「松本会場」を結び同時開催する新しい形の東京同窓会でした。コロナに怯むことなく対策を練り進化し続ける東京同窓会です。また多くの同窓生が「ふるさと納税制度」を活用して母校を

迎えます。母校は第二次世界大戦を経て時代の変遷と共に歩み進化し存在感を高めております。東京同窓会は昭和43年樋口和博氏(中1回)初代会長のもと発足しました。今年で55回目を迎えます。恐らく当初の同窓会は少人数であったと思えます。昨今は300人近い同窓生が集まります。他校から縣陵同窓会の隆盛ぶりが羨ましがられまた不思議がられております。要因ははつきりと判りませんが、同窓会役員と実行委員の方々の多大な尽力と思えます。根っこは学生時代の繋がりの深さと、同窓生が今なお縣陵が「好き」の一言だと思えます。同窓会で校歌や「覇権の剣」などの応援歌を歌いますと自然と肩を組み一体感が湧いてくる我々です。

乱を脱し秩序を取り戻し前進し始めました。

私達松本県ヶ丘高校東京同窓会もコロナの影響を受けておりますが、同窓会は地道に活動を続けています。昨年の54回東京同窓会は43回生を中心にオンライン形式で「海外在住者」や「東京メイン会場」それに望月同窓

会もコロナの影響を受けておりますが、同窓会は地道に活動を続けています。昨年の54回東京同窓会は43回生を中心にオンライン形式で「海外在住者」や「東京メイン会場」それに望月同窓

会もコロナの影響を受けておりますが、同窓会は地道に活動を続けています。昨年の54回東京同窓会は43回生を中心にオンライン形式で「海外在住者」や「東京メイン会場」それに望月同窓

会もコロナの影響を受けておりますが、同窓会は地道に活動を続けています。昨年の54回東京同窓会は43回生を中心にオンライン形式で「海外在住者」や「東京メイン会場」それに望月同窓

会もコロナの影響を受けておりますが、同窓会は地道に活動を続けています。昨年の54回東京同窓会は43回生を中心にオンライン形式で「海外在住者」や「東京メイン会場」それに望月同窓

会もコロナの影響を受けておりますが、同窓会は地道に活動を続けています。昨年の54回東京同窓会は43回生を中心にオンライン形式で「海外在住者」や「東京メイン会場」それに望月同窓

2021.6.12 第54回東京同窓会総会・懇親会オンライン開催 YouTubeより

<https://www.youtube.com/watch?v=ZDZp2SbwbGQ>



縣陵2021年度を振り返って

第34代学校長 杉村 修すぎむら しゅういち

はじめに

縣陵東京同窓会の皆様におかれましてはいつも母校の教育活動に對しましてご理解とご協力をたまわり、心より感謝申し上げます。

昨年度に引き続き今年度はコロナ変異株が猛威を振るい、昨年度より厳しい状況下の中ではございますが、今年度ほど縣陵生の活躍が目立った年はございません。弓道女子個人全国3位、演劇全国優良賞、陸上、空手道卓球、女子テニスも全国大会に出場するまでになりました。「勉強も部活も頑張りたいという生徒」が縣陵をめざして来るようになりました。また生徒会の自治活動は今や全県をリードするまでになっております。

ひとえに縣陵愛に満ちた多くの皆様方のお陰でございます。加えて第53回実行委員の皆さまには、多くの支援金を賜りましたこと、学校を代表して心より御礼申し上げます。

進学型単位制への移行

創立98年目にあたった昨年度、縣陵は探究科設置4年目を迎え、多くの課題点が見つかりました。1番は教員数が足りないということです。今や名だたる進学校が単位制を敷いて教員数を確保しており、その最たる典型が県立浦和高校です。新年度から県立長野・屋代・県ヶ丘の3校がモデル校となります。先生の数が多くなり、数英の1年次の授業がレベルに合わせた選択制となります。成果は、

- ①旧帝大2桁
- ②信大医学部医学科毎年1名以上
- ③探究学習の成果物を使つての推薦入試で2桁
- ④国立大学(公立大学含まず)100以上

という県教委からの約束があり達成しなければなりません、しかしこれらの基準はこれからの縣陵にとつては当たり前でなくてはならないことです。目標達成は実現可能だと思えます。

新学習指導要領で探究の縣陵を確立

令和4年度より「新学習指導要領」が施行されます。新1年生から進学型単位制導入に伴い普通科でも「総合的探究の時間」を探究科と同じ2時間に設定いたします。また、3年後期の授業では大学受験に對する授業科目を設定し、英検準1級、定期的なボランティア、短期留学、受験対策講座等には申請があつた場合増加単位を認定する予定です。

そして全教師が指導する探究を深化させ「探究の縣陵」をゆるぎないものにしたいと考えております。

縣陵100周年以外にも「長野県ふるさと納税」への協力

来年令和5年(2023年)9月30日(土)に今のところ松本市芸術館にて100周年記念式典を行う予定です。それに伴う同窓会の寄付の依頼が出ておりますが、各種団体からも学校に直接ご寄付をいただいております。その中でも「長野県ふるさと納税」で「松本県ヶ丘高校の教育環境整備に使つてほしい旨」をお書きいただきますと学校としては本当に自由に使えますのでありがたいです。引き続きよろしくお願いいたします。

終わりに

4年間の長きにわたり縣陵第34代校長を務めさせていただきました。先生方や生徒に恵まれて、精いっぱい務めたつもりですが、まだまだ不十分であったと思います。次に引き継げるようにいたしました。縣陵第35代校長は私と同じように高校教育課管理係の金井繁昭主幹指導主事です。私同様引き続きご支援、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。4年間ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

追記

いよいよ縣陵99の新年度が始まりました。皆様のご期待に添うように生徒と職員が力を合わせて頑張つてまいります。Facebookや新しいホームページで縣陵の活躍をご覧いただきたいと思えます。



長野県 松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会

会長 **佐藤悦雄**
(昭和33年 高10回卒)

〒203-0043 東京都東久留米市下里7-3-33
Tel. Fax. 042-475-3241



よく見、よく聞き、 そして忘れず

第55回東京同窓会実行委員長
松沢 真介(高44回卒)

一時でも想いを共有できることは幸せだ。それが多世代ともなればなおのこと。世界が広がり、思い出に彩りが増し、時に自分を奮い立たせてくれる。"なんだ君も浅間温泉の出か、秋には松明祭り、燃えかすの煤でみんな顔を真っ黒にしてなあ"……(私)そういえば部活終わりに地元縣陵生らで夜寒空の下凍えながら松明作ったり

もしたっけ)。思い返す故郷や当時のこと。恩師、その厳しくも優しい眼差しは今も脳裏に焼き付く(会報7ページ飯島彦太郎先生)。バスケット部で汗を流した日々、漫画「スラムダンク」が流行った。縣陵在籍中サッカー部は2度も全出国出場を果たした。折しもご近所・松商学園は甲子園で大活躍。ある昼時、佐藤商店の店内でピツ

チャー上田(その後プロ野球入り)に遭遇、取り巻く女子高生の人だかりに押しやられ弁当選びも困難を極めた、etc。周囲の活気もあつてか、将来への不安を抱えつつも楽しい高校生活だった。卒業から30年、その間ことさらに縣陵を振り返ることはなかった。期せずして今期同窓会に関わり、同期が、先輩が、後輩が、各々の道でがんばっている様子を見聞きした。過去の会報を紐とけば、そこには様々な想いや絆が紡がれていた。三大精神を合言葉に3万人に至らんとする同窓生、その想いの総量を考えれば途方もない熱量だ。母校に鎮座する石碑をWeb上でしばし眺めていたら、

映画「2001年宇宙の旅」に出てくる未知のエネルギー物体・黒い石板モノリスに思えた。およそ2年にわたり様々な行動や対面でのコミュニケーションが制限され、日常生活はがらりと変わった。前年度の「結、時をつなぐ、人をつなぐ、縣陵愛」の想いを引き継ぎ、「紡ぐ、前へ」をテーマとした今期、新たな社会へ、前へ、縣陵生の想いが紡がれていくことを願う。といつても僕自身何かたいそうなことはできない。ただ、よく見、よく聞き、そして忘れずにいようと思う。44回生実行委員へ多くの方から温かい言葉・エールをいただいた。この場を借りて御礼申し上げます。



母校の縁と 友情を支えに

母校愛のリレー実行委員長
小林 稔政(高44回卒)

本年度、母校愛のリレーの実行委員長を仰せつかりました小林稔政と申します。

私たち44回生の年度の愛のリレーの準備は新型コロナウイルスの感染拡大期と見事に重なってしまいました。例年であれば、先輩の愛のリレーを見学し、企画を練るところでしょうが、先輩たちも

このコロナ禍で事業を開催することがままならない状況に置かれていました。私たちも感染拡大期にあたり、集まって会議を開催することができず、実行委員会の発足も遅れ、急遽、私が実行委員長に任命された状況でした。正直、何をどうすればよいか全く分からない状態からのスタートでした。そ

んな状況の中、コロナ禍にも関わらず、徐々に実行委員会のメンバーが集まってきたことに同窓生の深い友情を感じることが出来ました。個人的な話になりますが、2020年3月、長野県で初めてのコロナウイルス感染者が確認されたとき、感染者が私だというデマが拡散しました。SNSで書きこまれ、会社にいたずら電話がかかってくるなど様々な被害を受けました。自腹で新聞広告を出稿し、新聞やテレビの取材を受け、何とか誤解を払拭するに至りました。そんなピンチな時に陰日向になつて助けてくれたのが地元の仲

間であり、特に縣陵の同窓生でした。持つべきものは友だと思っていました。思えば、この友情は、先輩たちが綿々と繋いできたご縁の上に立っているものです。先輩たちが繋ぎ続けたバトンを次の代に繋ぐことこそ、母校への感謝の気持ちを表すことになると思い至りました。このような状況から、学校、先生方と相談をさせていただき、愛のリレー事業を通常開催される4月から9月へ日程を変更させていただきました。いまだコロナ感染は拡大しておりますが、この困難な状況に立ち向かっていく所存です。よろしくお願ひ致します。

不動産・相続の身近な相談所

三澤 政興(高18回卒)

ファイナンシャル・プランナー(CFP)
公認不動産コンサルティングマスター
上級相続アドバイザー

株式会社 日本ビルワーク
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-35
小林ビル1F
Tel:03(3237)1370 携帯090-2525-5037
Email: m-misawa@nbw.co.jp

縣陵三四会

巢山 英毅
(高11回卒)

〒399-8303 安曇野市穂高651-32
(〒178-0062東京都練馬区大泉町6-11-6)
Tel 03(3925)0244 Fax 0263(82)5711

縣陵三二会

(昭和32年 高9回卒)

平沢 和久

〒214-0036
川崎市多摩区南生田6-26-1



5教科だけではない 探究科での学び

木村 珠星 (高73回卒)

新しい環境に身を置き始めた1年であったが、大学の授業や新しいコミュニティにおいて高校3年間の学びは非常に重要だと感じた1年であった。

大学生活1年目は、ほとんどオンラインによる授業だった。オンデマンド授業やオンライン授業など形は様々であるが、高校3年時からの出来事なので、

そこに対する不安感はなかった。また、パワーポイントの使い方を学び、学んだことを用いながら各々調べ学習をする授業があったが、高校3年間で何度も繰り返し行っていたので、この授業も特段の苦労はせずに取り組むことができた。

このように高校3年間の学びが役立っている大学生活だが、その中でも高校時代の探究学習を通して学んできた「自ら情報を探し、選択し、そして自身の意見を持つ力」というの

は、大学生活でも大いに役立っている。

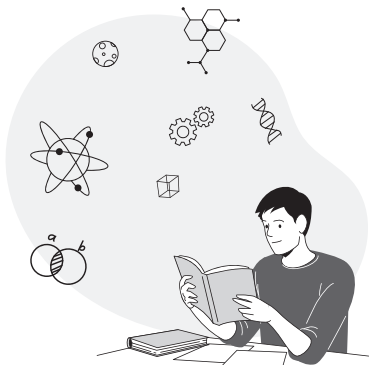
専攻しているデータサイエンスでは、どのデータが何を示している、つまりデータ全体として何が言えるのかを調べる必要があるが、この時、「自ら情報を探し、選択し、そして自身自身の意見を持つ力」が必要であると考える。

この力は、大学生活だけでなく普段の生活においても周りに溢れる情報に流されないために必要であることは高校時代から常々言われ続けていることであるが、高校時代の探究活動を通して情報の受け手側だけでなく、普段から意識して気をつけることができていると感じる。

高校3年間の探究学習を通して、受験に必要な5教科の学習だけではなく、生きていく上で必要な学びをしてきたと

感じる。

周りの情報を鵜呑みにするのはなく、一旦、考えて、解釈する段階があることで個性、考え、芯を持つことができる。相手の意見についても単純に賛成・反対をするのではなく受け入れる段階を踏むことで今まで関わったことがなかった様々な考えを持つ人がいる新たなコミュニティでも、新たな学びをし続けながら自分自身というものを確立させることができると思う。



学びと社会での 着眼点

T SUMUGURU

卒業後30年の44回生。私たちが実行委員であった第44回 縣陵祭(1991年)のテーマが『ゼロ〜原点への自己探究』でした。今や教育環境もカリキュラムも変わりましたが、今回、入学年がおよそ30期違う73回生からの寄稿と共に、縣陵の学びと社会を繋ぐ原点を改めて振り返るきっかけとなりました。

皆さんも「ファシリテート」という言葉を耳にすることが多くなったかもしれません。「ひと」と「ひと」をつなぐプロデューサーであると同時に、共に考えるべきテーマ設定と問いかけにより相互理解を図り、新たな関係性やアイデアを生み出すなど、創造的な学びのプロセスにおいて伴走する役割を持ちます。

「都市計画」という言葉は一見華々しいイメージですが、一方では無機質な建物や空間もあり、でもその地には風土や歴史、人々の生業や生活文

東京OB会の入会を
常時受付中!!

縣陵野球部を応援します。

松本県ヶ丘高校 野球部 東京OB会
会長 松尾 静二郎 (高9回)
045-351-1620



「丘の会」
めざせ! 甲子園!!

健康ですか?
悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山 5-7-9-102

(京王井の頭線 久我山駅前)

TEL 03(3332)5725 (予約制)

院長 久保田昇子(高18回卒)



学びほぐし Unlearnのススメ

〜東日本大震災後、被災地生活で学んだもの〜

ももせ じゅん
百瀬 旬(高44回卒)

「アジアで最も大人が学ばない国は日本である」という調査結果[※]がある。

一方で、「組織は人なり」と捉える企業は多く、社内研修の強化だけでなく、これまでのMBAや資格取得に加え、Recurent(リカレント…生涯学習)やReskill(リスキル…職業能力の再開発)といった分野も台頭しており、「人生100年時代」が叫ばれる今、社会に出た大人たちが学ぶ機会は次第に増えている。

このような中、私自身、人生の後半戦でもう一度トライしたいのは、「Unlearn」による学びである。Unlearn(アンラーン…学びほぐし)とは、言い換えれば「過去の学びや成功体験をリセットし学びなおすこと」と言われている。

前段で「もう一度」と言ったのには訳がある。東日本大震災

後の復興プロジェクトに参加するため、宮城県気仙沼市で生活した2年間の体験による生きた学びがあるからだ。元来私は企業の広報として東京で勤務し、グローバルビジネスに価値を見出し日々励んでいた。その経験を活かし、被災地域に貢献したいという思いで手を挙げたが、現地で期待されていたのはそれではなかった。正確に言う、その点も必要だが、大前提になったのは、そこに暮らすことで地域の方々と一緒に感じる四季の移ろいや、住民としての価値観や危機感の共有であった。また、地域の文化歴史を継承する行事への参加などから生まれる地元目線に基づく復興支援であった。東京ではメディア等から得た情報を机上で考察することが多かったが、生活者として一次情報で物事を捉えることで、ビジネスにもより説得力

が生まれるなど、現地で過ごした2年間は、これまで経験した学びの中でも一番大きく、その後の人生の軸を再構築してくれた。これがまさに私にとつてのUnlearn体験であり、学びほぐしから得た財産である。

このような学びは、時代的な言葉として再認識されている[Well-being(ウェルビーイング)]という価値観にもつながる。

文字通り幸福、豊かな状態を意味するが、このUnlearnこそがWell-being実現のための近道に成り得るのではないかと思う。新しい時代、新しい自分に進むため、これまで紡いできたものを一度解きほぐすことは、少しばかり勇気も必要だが、県陵の三大精神をもつてすれば、なんのその、である。

※出典…パースル総合研究所「APAC就業実態・成長意識調査(2019年)」



漁師になりきり体験型観光コンテンツ化のお手伝い

化、観光など多面的な「まちづくり」があるーこれこそが私自身が歩んできた、生きた現場です。

およそ20年、コンサルタントとして都市やまちに関わるなかで、課題やビジョンを見出すプロセスは、おそらく途切れることのない問いでもあります。しかし、学びや仕事の場において問題の本質に迫るほど楽しい過程はありません。そのために専門分野にとどまらずゼネラリストでありたいし、スキルの賞味期限を延ばす学びが常に必要なのだなと感じています。

第55回実行委員会
袖山 朋美(高44回卒)

一緒にゴルフしませんか?

新会員募集中
ゴルフ同好会 アルペン会

年2回名門コースでコンペ有り
一人でも参加できます。

会長 青柳 善久(高20回)

連絡先 agatagolf@yahoo.co.jp



学校法人をはじめ各種法人のさまざまな事務処理、アウトソーシングを一括受託
株式会社 **ポストインネットワーク**
ホームページ <http://www.postin-net.com/>



発送代行、データ管理は、Pマーク企業の当社におまかせ下さい。

相談役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社: 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F
Tel.0422-23-7620 Fax.0422-23-7630
企画営業部: 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F
Tel.0422-23-7616 Fax.0422-23-7626
物流センター: 〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-19-6-2F
Tel.04-2951-7507 Fax.04-2951-7517



創立百周年と「愛のリレー」に向けて

おぎす しんしょう
荻須 真尚(高46回卒)

松本県ケ丘高等学校、通称「縣陵」は、とてもおもしろい高校だ
と思う。
見ず知らずの者同士が初対面
で、縣陵同窓生と知ると、年代を
超えて、親近感を覚え、親しくつ
きあうようになる。
このコロナ禍、リモートワーク
やオンライン授業が進んだ。とて
も便利になったと感じることもあ
るが、その一方で、人と直接会え
ず、寂しさも感じている。
ご近所の方は松本を離れて生活
していることもや孫に会えないと
嘆いている。
今は、このコロナ禍でみんなが

「分断」、「孤立」を感じていないか。
昨年、アメリカのハーバード
大学が七五年にわたり追跡調査し
た、「人間の幸福や健康に直接関
係があったのは『良い人間関係』
だった」との発表があった。
この調査で分かったことは、友
人の多さではなく、たった一人で
も心から信頼できる友人がいるか
が重要であること。
心から信頼できる友人、言い換
えると「親友」であるが、人生で「親
友」と呼べる存在は何人出会うこ
とができるであろうか。私には縣
陵の仲間が親友だ。特に、私が所
属した縣陵サッカー部の仲間は青
春時代、全国大会出場という同じ
目標に向かって苦楽をともにした
者同士。今は、仕事も住所も異な
るが、それが逆に気楽に話しやす
いのかも知れない。
来る令和五年は縣陵創立百周
年、翌令和六年は私たち高四六回
生が縣陵卒業三十周年、「愛のリ
レー」担当を迎えるので、それに
向けて、同期の仲間と連絡を取り
合い、準備を進めている。
創立百周年、「愛のリレー」に
向けて、仲間とともに紡ぎ、結束
して、結果を吉としたい。皆さん、
酒杯を一緒に挙げましょう。
(松本市大村 玄向寺副住職)



クラシック音楽を伝えていくこと

おおつた
大蔦 あや(高57回卒)

2005年7月、県ケ丘高校
を卒業した年に、単身ドイツに渡
りました。初めての飛行機、初め
ての外国、着陸直前に見た光景は、
緑豊かな平原と、絵本から出てき
たような街並み、今でも忘れられ
ません。
クラシック音楽が生まれ、文化
として育まれた土地でピアノを、
音楽を学びたい、その一心でドイ
ツに渡りました。9年間ドイツに
住み、現地の音楽大学、大学院で
学べた経験は私にとって何事にも
勝る大切なものです。
一番印象的だった経験は、ドイ
ツにて音楽大学に合格するために
必ず行う必要があるとされるフォ
アシュピールというものです。学
びたい教授の前で、演奏し、大学
に入れるだけの力があるか、入試
前に直接教授に意見を求めるとい
うものです。私は、大学名も知ら

なければ、どんな教授がいるのか
も知らない有様でしたので、有料
で使用できる本屋さんのパソコン
の前で、辞書を片手に茫然として
いることも初めのうちはよくあり
ました。
学生でしたので遊ぶお金はあり
ませんでしたが、北はリュウベッ
クから南はミュンヘンまで多くの
大学を訪問し、様々な教授に演奏
を聴いていただき叱咤激励をして
いただきました。1時間のレッス
ンが3時間程となり、どうしよう、
1時間分のレッスン代しか持つて
いないと恐る恐る教授に言った
時、そんなこと全く気にしないで
いい。私は、クラシック音楽を伝
えるために、貴方が音楽家とな
りたい。持っているすべてを次の人に
伝えなさい。
そう言うて下さった教授のレッ
スンに対する姿勢は忘れられませ
んし、感銘を受けました。
クラシック音楽は何百年に渡
り、人から人へ伝えられて今日ま
で残っています。
私も一人の音楽家として私が出
来る全てで、この文化を伝えてい
きたいです。



渡独して初めて住んだ町
ミュンスター

医療法人社団 梓会

古畑歯科医院 いびき・睡眠呼吸障害研究所

日本歯科大学付属病院 内科 臨床教授
東京医科歯科大学付属病院 非常勤講師
日本睡眠学会歯科専門医・日本睡眠歯科学会認定医、指導医

古畑 升 (高22回卒)

〒107-0052 東京都港区赤坂7-10-8 江戸清ビル2F
TEL・FAX 03-3587-1832

- 一般歯科
- 口腔外科
- 審美歯科

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業



ひとに優しい未来を創る
ASUPIA
AMENITY, SECURITY & UTILITY for UTOPIA
株式会社 **アスピア**

代表取締役
百瀬 方康
(高22回卒)

〒390-8639 長野県松本市宮淵1-3-30 TEL.0263-32-8855 FAX.0263-35-1618 E-mail:info@asupia.co.jp



今こそ「弱音を吐くな」で前進

恩師：3年D組担任(英語) **伊藤 忠司**(高7回卒)

二月中旬に東京同窓会から会報「あがた」への寄稿のご依頼があり、テーマは「紡ぐ〜前へ」との事で、五年前39回卒業生テーマが「縣陵ピタミン・出逢った奇跡、つながる想い」であった事を思い出し、先輩から後輩への深いつながりを感じました。現在の私は85歳の後期高齢者で、心身の衰えは否めず、To write or not write, that is the question. とシェイクスピア悲劇の主人公ハムレットのように悩みました。しかし縣陵三大精神の一つ「弱音を吐く

な」の言葉に励まされて前向きに頑張る。張って書こうと決意しました。今度の「東京同窓会懇親会」と「愛のりレー」を担当する44回生は平成元年入学の団塊ジュニア世代で10クラスの学校生活がスタートしました。団塊世代18回生が11クラスでしたので、学級数が一番目に多い学年でした。但し10クラス卒業は団塊世代で四年連続、ジュニア世代でも二年続きました。一学年時は夏は暑く冬は寒い急造アレーナ校舎で弱音を吐かず耐えられました。教育課程の改定で一学年時はク

ラス替えをせず、文系理系に分離した講座別編成授業となりました。大学受験に有効だと判断したからです。最終学年時は大学入試戦線突入で、受験生の増加と共に国公立大は勿論のこと私立大が総難化し「学力無き者の入学可能大学あらず」の状況でベストを尽くし善戦しました。卒業30年後の今日、団塊世代が順次後期高齢者となり始め、超少子高齢化社会の到来です。ジュニア世代も子供の進路、親の介護等、前途多難です。今こそこれ迄に培った英知を紡いで弱音を吐かず前進の時です。

最後に松本県ヶ丘高等学校並びに縣陵同窓会の益々の発展と来年の母校創立百周年記念事業の成功を心から願っています。



良い思い出と悔い

恩師：3年F組担任(国語) **飯島 彦太郎**

新型コロナウイルスがこの数年で日常生活をすっかり変えてしまった。ましてや三十年も経つと、当時の縣陵生活は夢のようにぼんやりしている。三十年前に諸君の前で教壇に立っていた年令は、今の諸君と大体同じだ。その時私はどんな教員で、どんな授業をしていたか、最近ふと不安になっていることがある。夢に見て冷や汗をかいていることがある。

縣陵は進学校を標榜し、進学率をいかに上げるかが大事だった。当然そういう雰囲気の中で進学指導をし

ていた。当時縣陵の進学実績は相当良かった。諸君の努力の成果だ。進路希望実現のために、生徒・保護者・教員が丸となってがんばった。できるだけ予備校に頼らずに何とかしようという空気だった。しかし、この年になって振り返ると、あの受験指導で本当に良かったのか不安になる。縣陵生は能力があるので、授業内容をもっと深く、面白い(興味を刺激するような)ものができたのではないかと、経験の浅さと勉強不足を反省している。今、NHK文化セ

ンター(松本)で七・八十代の老人を対象に漢詩の講座を持ち、一緒に楽しんでる。当時の授業と今の講義の内容を比較してしまう。

進学と同時に、縣陵生は部活動で様々な面で活躍し、実績を上げた。思い出として残るのは四十四回生が一年と三年の時にサッカー部が全国選手権に出場したことだ。縣陵に在職六年目と八年目、それまでなかなかその切符を手にする事ができなかった。やっとという感じだった。当時小学生だった娘と、応援の仲間に入れてもらい、東京(駒沢か、三沢か)へ行っただ。強豪の国見高校だったかな。教員生活で同一校九年間と長い縣陵生活は記憶が錯綜しているが、良い思い出が沢山ある。



街に未来にアートで繋ぐ

私たちは、モニュメント、パブリックアート建築に関わる内外装造形物の設計・デザイン・制作・設置・メンテナンスを行う、総合美術系制作会社です。



Be Factory 〒123-0864 東京都足立区鹿浜 1-13-19 | 03-3857-8155 | info@befactory.jp | 代表取締役 中村 茂幸(高27回卒)

グラフィックデザイン (有)荒木デザイン室
代表 **荒木 仁** (高23回 | 卒)

tel.042-301-1144 fax.1145 araki@arajin.jp

ミュージーション早稲田 ミュージーション早稲田 ダイニングキッチン

ASKA 株式会社 **ASKA建築研究所**
Architects Seiji Komatsu and Associates. Co., Ltd.
代表取締役 **小松清路** (高23回卒)

〒169-0072 新宿区大久保2-1-3-1201 TEL.03-3209-3127 FAX.03-3209-3126
E-mail:aska@aska-komatsu.jp URL http://aska-komatsu.jp/

インテリアARAKI
内装工事・設計・施工

代表 **荒木 仁** (高23回卒)

〒157-0061 世田谷区北烏山7-2-18
TEL:03-3308-5610
FAX:03-3308-5624
Email:gh-araki@jcom.home.ne.jp



紡ぐ～前へ Society 44

第55回実行委員企画

私たち44回生の在学中は1年生と3年生の時に、サッカー部が全国大会へ出場した黄金世代でした。日本の、長野のサッカー界を率いるおふたりが今、サッカーを通して、原点とその先に迫ります。

文/実行委員 広報担当 袖山 朋美

松田正巳氏

高22回卒

元サッカー部顧問・現長野県サッカー協会会長

まつだ まさみ

Profile

東京教育大卒業後、教職に就き、1986年～1997年まで縣陵サッカー部を指揮。2018年より一般社団法人長野県サッカー協会会長に就任。サッカーを楽しめる環境づくり、教育、生涯スポーツにつながるサッカー文化の創造のほか、子どもたち、高校、リーグチームなどと共に長野県のサッカーに係る活動に尽力。縣陵サッカー部OB会会長。

縣陵の伝統、指導の原点

個性の生かし方、そして人と人との間にあるもの

——縣陵といえは「サッカー」。その黄金時代を築いてこられた松田先生と下條さん世代のサッカー部はいかがでしたか。

松田 当時、指導者だった渡辺先生のサッカーに対する熱い情熱と指導を受けて育ってきました。私がつい最近まで指導者を務め、今でもサッカーに関わり続けられているのも、縣陵サッカー部で得たことと共通する部分があると思います。

下條 私が1年の時はサッカー部全体で30人程度でした。よく走らされたけどその厳しさが楽しかった年代でもあり、文句を言いながらもみんな付いていったものです。
松田 俺は3年間、先生によく怒られていました(笑)。練習は3時半頃から7時頃までだったかな。

下條 体育館から漏れる薄暗い明りの中で、壁に向かっていつまでもボールを蹴ってましたね。当時それはそれ土の良いグラウンドではなかったし、小さなコントロールやキックなどにこだわりのながら先生は指導してくださったのだなと。

俺たちが1年生で入った時に、インターハイで全国3位になって卒業していった先輩たちが大学に入ってから教えるにきてくれました。俺自身も、大学の長期休みの時にはよく練習に訪れていたし、これが先輩としての母校への恩返しでもあり責任かなと。

松田 私が教員になり母校に戻ってきて、サッカー部の練習が自分たちが先生に教えてもらってきた練習方法と同じだったんです。守備や攻撃の原則といった基本的な原点は、現代のサッカーと変わらないと思います。

下條 全くその通りですね。でも今は映像で可視化することができ、子供たちは小さいうちから海外のプレーも、テクニクやスキルも全部映像で見られます。あのようなのも昔あったら違ったのだらうなと思います。百聞は一見に如かずで、先生が言葉で指導してくれました。渡辺先生は数学の先生でしたから、頭の中で考え、計算し、図示したり。当時は黒板やチョークでした。

松田 あの時代、縣陵が良かったのは、校技としても、また色々な意味でのサッカーの伝統が語り継がれてきたからでしょう。



俺たちが1年生で入った時に、インターハイで全国3位になって卒業していった先輩たちが大学に入ってから教えるにきてくれました。

下條 私も先輩面をして自分の経験を語りました。早稲田大学時代は、日本代表として日の丸をつけて活躍する選手たちと一緒にプレーをしていたので刺激が大きかったです。また、高校時代の対戦相手は全部記憶していて、国体で、『赤き血のイレブン』のモデルともなった浦和南高の試合の時、女の子たちが歓声をあげる隣のピッチで我々が寂しくプレーしてたことは今でも覚えてます。とにかく全国大会へ行つて強豪の静岡県代表チーム(清水商業高、藤枝東高)や鹿児島実業など当時強いチームと対戦できた経験が、良いモチベーションアップに繋がっていました。

松田 当時の縣陵は全国のレベルにも近く、結構可能性を秘めていたチームでした。

下條 山雅の先輩方も個性豊かで、ドリブラー、パスラー、ヘディングの強い人、体の大きな人、小さくてずばずばい人、自分なりに考える、そういう個性があることが当時の強いチームの証だったよな気がします。こうして松本山雅で仕事を始めることになって、その当時の先輩方の思いは今も根底にあるのだなと改めて思います。

松田 俺も何かひとつ特徴を持ってと言われ、自分の得意なところを伸ばして結果で応えていたかな。

下條 こうして長くコーチや監督など教えるという仕事を通して、サッカーというものは色々伝えてくれるのだなとつくづく感じます。松田さんもきっと共感、共鳴してくれと思うけど、サッカーはど面白いスポーツはないですよ(会場、笑)。チームワークや組織的なプレーも当たり前前だけ、やはり個人の能力です。多様なタイプの選手がいるなかで「勝つ」ためにどうしたら良いかという最大のテーマにチャレンジをしています。

今までの経験から長野県のサッカー育成に還元できることは、
下條 アカデミーや若い年代に教えている若い指導者がいるんことを学び、バイタリティを持って子供たちを導いていくことが大事です。かといって鍛えるというより、会社組織でもそうですが「コーチング」です。監督・コーチと選手との間、やはりそういう人と人との間にあるものを見つめ直して、若い世代のチャレンジを良い方向へ導き、ヒントを与え続けるということが大事ではないかな。

勝つための創意工夫、考える力を育てよう

下條 俺たちの仕事は最適解を見つけていくことが大事です。ではその最適解とは何か。プロサッカーは勝つことがチームやクラブとしての継続を担保します。勝つために創意工夫するところが毎日のトレーニング

やハードワークに耐えられるわけで、勝つための方法を考える面白みを感じてほしいです。

*1 高校サッカー界の強豪チームをモデルとしたサッカー漫画
*2 基本を守る・型を破る・型から離れ独自に判断できるといった、物事を学ぶ基本姿勢や取り組み順序のこと

回卒)

スペシャル対談の感動的な記録・動画は、

集

CG
LIVE

スパ...
ヤレ寸炎



三元中継！
—そして(鹿児島)より



和やかな雰囲気で行われたオンライン対談 (松本会場の様子)

【オンライン対談】
日時：2022年2月21日(月) 20:00～21:50
オンライン zoom ミーティング &
松本会場：松本県ヶ丘高校同窓会館
インタビュアー：サッカー部OB 竹野入潔氏(高45
44回生の松本メンバーにもご協力いただきました。

「子供たちの成長に対するアプローチは。」

下條 サッカーを通して、地頭の良い子ども、選手を育ててほしいなと思います。自ら考え、メンタルも含めて自分で悩み悩んで結論が出せる子ども。そしてまた頑張れる子どもです。子供たちを教えるプロフェッショナルの存在も重要だし、子供たちの育成にチャレンジするために学校も地域のクラブやチームとうまく融合していかなければなりません。

今の縣陵サッカー部に対しては。
下條 敢えて言えば、「文武両道」だと思います。それが地頭の良さにつながるのでは。一般的に、言葉の種類と考える量、考える力という基礎教育はサッカーにも通じるところがあります。

松田 自分たちで考えて、勉強もサッカーもチャレンジしていくこと、それが縣陵生です。

懇親会に併せて公開予定です

特

TSUM

スハミヤノ文誌

シナリオとスキルは表裏一体

「今期から山雅に、松本に戻ってきました。今後の山雅への期待は。」

下條 私も多くのフアンの方々と同様にチームの底力に大きく期待しています。ゲームモデルの分析やベースとなる戦術論、選手をうまくコントロールすることにフォーカスできれば、山雅もどんどん良くなっていくだろう。自信を持って試合に臨むためには、日々積み重ねているものが勝利に繋がる大事です。「守破離(しゅ・は・り)」という姿勢やプロセスは、勉強と一緒に。予想問題が分かっている対策が出来れば積極的にプレーできる。ある程度、攻守のシナリオのようなものをチームで共有していることです。

「縣陵サッカー部でもできそうですね。このような企画をしたら、松田先生と下條さんはあがたに来て話をしてくれませんか。」
(会場、笑)



松本山雅FCテクニカルダイレクター

しもじょう よしあき

下條 佳明氏

高25回卒

Profile

早大卒業後、日産自動車(現横浜F・マリノス)でプレー。引退後、日産横浜FMでコーチ、チームディレクターなどを務め、2001年には横浜FMを監督として指揮。その後2016年まで横浜FMでゼネラルマネージャー、その後名古屋グランパスのゼネラルマネージャーを経て、2021年12月現職に就任。およそ45年にわたって日本のプロサッカーの現場に携わる。



下條 いくらでもしますよ(笑)。
「ただ肝心の、そういうスピーディなサッカーにはスキルとハードワークが必要。頭でつかちになってシナリオを理解しただけではだめです。個の能力の高い選手たちを集め、判断スピードを上げること、パスの質に拘ることなどでシナリオが完成していく。当然、縣陵でもできることです。」

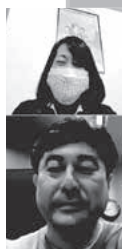
松田 まさにその通りで、サッカーはボールを止める、蹴る、運ぶの反復だけど、その一番基礎の部分を飛ばしてしまっている指導者が多いのでは。例えば、加減乗除ができないれば数学だって解けないことと似ている。ゲームモデルを駆使するためには戦術や約束事を理解しなければならぬし、この状況の時はどう動くかなど原則、副原則で捉えること、身体能力とスキルの高さが重要です。

松田 初代校長小松武平先生は、サッカーを通して人間づくりをという思いを持って校技に取り入れ、今でもサッカーというスポーツは縣陵に脈々と生きています。

下條 100年の伝統と歴史。その重みを現役生に感じてもらうことは難しいかもしれないが、今日のような色々な話を通して、将来に向けて高みを目指すという志を持つことが大事です。日々の練習の趣旨を感じ取りながらトレーニングを深掘していくことで、もっと違う感性が研ぎ澄まされていく。価値あるチャレンジや活動を続けることは非常に大事です。

松田 縣陵が100周年を迎えることは非常に嬉しいことです。これから次の時代へと流れていくことになりましたが、100年前、小松武平先生がどのような思いで生徒を育成しようとし、学校を運営していたのかという建学の原点に一度戻って、次の200年に向けていくことが必要かなと感じます。在校生、卒業生がみんな知っている三大遺訓(縣陵三大精神)は、目標を持って何か事を成そうとする時に大事な言葉です。

下條 縣陵でサッカー部だった時代も、本当に何もなかったけれど、創意工夫をして練習環境をつくりたい。先生たちが練習のことを考へたりしていました。今はサッカーの環境は道具もツールもたくさん揃っているけど、そのような中でもトレーニングメニューを工夫するなど、時代と共にみんなのアイデアひとつで色々変わっていくと感じます。そういうことが、もしかしたら100年の歴史というところのひとつのヒントになってくるのかなと感じます。



zoomでの松本-東京キャン先

最後に、対縣陵生の企画ということで、下條さんが好きな曲とサッカー人生で今でも大切にされているエピソードを披露。
玉置浩二の『メロディ』という曲にある歌詞「あの頃は何もなかったけど楽しかった」日産グラウンドでサッカースクールをスタートさせコーチングを始めた頃は、土のグラウンド、あるのはボールのみ、オリジナルのコーチング本作成に手刷りの募集チラシのポスティング。期待以上の400名もの申込が来て指導者が足りなくなり、日産サッカー部のOBをかき集めたなど。
♪音楽が流れ、しばしみんなで聴き入る♪

どこまでいっても、
創意工夫ですね。
End



2023年 縣陵は創立100周年を迎えます

日時 2022年6月11日(土)〈総会〉 12:30～

〈懇親会〉13:15～16:00

当日会場参加を検討されている方は、
できるだけワクチン接種を3回お済ませのうえご参加をお願いいたします

会場 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 3階 富士の間

東京都千代田区九段北4-2-25 TEL:03-3261-9921

JR中央線/地下鉄各線 市ヶ谷駅から徒歩約2分

会費 一般の方: 10,000円

若手世代: 3,000円 2012年3月以降に卒業の方(高64～74回卒)

準若手世代: 7,000円 2002～2011年3月に卒業の方(高54～63回卒)

申込方法 ホームページのお申込みフォームをご活用ください

複数名お誘い合わせのうえ参加を希望される場合にも便利です



東京同窓会公式ホームページ <https://kenryo-tokyo.net>

縣陵東京ネット



にて申し込みが可能です

複数名単位での
参加
申込可

お申込みは
5/23
まで



やむを得ずご欠席の場合は
6/6
までに

ご連絡をお願いいたします

(よんよん)
縣陵44会

TSUMOGU

第55回松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会 実行委員会(高44回)

松沢 真介 深澤 太郎 百瀬 旬
宮下 知子 井出 美鈴 袖山 朋美
*旧姓のまま



不恰好、だけど美味しい忘れられない

みそぱん

(有)日新堂製菓 中山明彦(高44回卒)

〒399-8204
長野県安曇野市豊科高家2287-67(あづみ野産業団地内)
TEL 0263-73-0073

SUN SHINE ACE

世界中のゲートボールを応援します!



長野県松本市大字島内5330番地
Tel: 0263-47-1577 / Fax: 47-6945
E-mail: info@sunshine-sport.com

代表取締役 角崎 勉(高44回)

相続・遺言

不動産登記

商業登記

司法書士法人

鎌崎・新村事務所

〒390-0852 長野県松本市大字島立796番地1
TEL:0263-88-8111 FAX:0263-48-5765

藤森 俊樹
(高44回卒)



朝日そば ふじもち

みんなが幸せで
ありますように。

デジタルマーケティングをやさしく

SANDGLASS

サンドグラス株式会社

長野県北佐久郡軽井沢町長倉598-261
代表取締役 高田 聡(高44回卒)

www.sandglass.jp

第55回

松本県ヶ丘高等学校

東京同窓会 総会・懇親会 のご案内

紡
ぐ
〜
前
へ

およそ2年にわたり様々な行動や対面でのコミュニケーションが制限され、今年の第55回 東京同窓会 総会・懇親会 の準備活動は、新たな社会への転換という意識変化へ対応を迫られるなかでのチャレンジの積み重ねでした。

このような時勢にあっても、これまで紡がれてきた母校の伝統や歴史をより意識しながら、同窓会の中で培われてきた世代を超えたネットワーク、時と人をつなぎ、そして結びあい、再会する同窓生、新たに出会う同窓生、そしてふるさとへの想いを、現在からこの先へ、前へ向かって紡いでいきたい。

わたしたちの思いやカタチを皆さまにお伝えするとともに、新しいカタチでの旧交を皆さま自身が紡いでいただける場となればと願っております。

Society 44

ソサエティ



美しい木の家

小林創建

KOBAYASHI SOKEN INC. SINCE 1928

代表取締役 小林稔政 (高44回卒)

〒390-0836 松本市高宮北5番8号

☎0120-127-580 ✉info@ksoken.com

ホームページもご覧ください! <https://ksoken.com/>



第55回 東京同窓会・懇親会 は私たちが実行委員を務めます

TSUMUGU

OKY
O
A
T
S
U
M
O
T
O

縣陵 44 (よんよん) 会

松本県ヶ丘高校 44 回卒業生一同



『応援』

ふくい 福井 順 (高31回卒)



人と人をくっつけることが好きだ。大学同期ジャーナリストF君と他校応援団同期旅行業社長O君を繋いだ「OFFの会」を10年やっており、公私ともにシナジーが生まれている。

私が社会人になった頃は職場に一人はおせっかい焼き上司がいた。今ならセクハラになるかも、だけど、当時は受ける方も素直で、本当にそれでカッブルも誕生していた。同期入社男一・女三だった私も先輩から「一人ずつ面倒みろよ、ひとり余るけど」と言われ、

間を取り持つ仕事。

はやし 林 季里 (高65回卒)



「僕はこれまで、人に何かを伝えるのが苦手だった。でも今はこのデザインを通して相手とどんな会話が生まれるか試してみたいと思っています」

——先日、お客さんがかけてくれた、とても嬉しかった言葉です。私は小さい頃から、絵を描いたり、アイデアを考えて人を喜ばせることが好きでした。

ある時、自分が描いた絵を通して、少しギクシヤクとしていた人同士の

えっ？(苦笑)、と思ったものである。

会社と会社をくっつける仲人業に携わって21年目になる。自称「企業の応援団」。私のライフワークである。創業30周年の会社のテーマは、「Excited 30(今の自分を超えて行け)」。歳は大台を超えたがアラサー世代と、ネクスト30を頑張っている。彼らとの仕事は楽しく、歳を取らない。彼らの目線に降りていくより、自分もそこにいて、歳の離れた友達がたくさんいる。趣味のマラソンも同様、コロナ禍のミニ大会で、

2・30代に交じって入賞した。3月6日には三年ぶりの東京マラソンに出た。秋の松本マラソンはまた自作懸険Tシャツで走るつもりだ。応援には体力も



必要なのだ。これを書きつつあらためて気づく。実行委員の方々の活動は、まさに老若男女の縣陵生を「紡ぐ」ことだと。紡ぐとは応援すること。人を人へ紡ぐことが、先の誰かへの応援になる。「紡ぎ続けた」縣陵同窓会は、100年の通過点目前である。

関係が一瞬で和らいで修復されていくような瞬間を目の当たりにし、「将来は、世界中のひととの間に立って、美術でその間を繋ぐ様な仕事をしたい」と思うようになりました。

英語科で異文化を理解する為の姿勢を知り、大学でデザインの心得を学び、現在は、商業や教育、医療、環境など様々な領域の中に潜む一分かりあえないに生まれる緊張感を少しだけ緩めるようなデザインやアイデアを提案する仕事をしています。

退屈そうに授業を受けていた子供の目が急に輝く瞬間を見られたり、もう表情を変える体力も無いだろうと思われていた病床のおばあちゃんが笑ってくれたり、企業の組織の中で無意識のうちに分断されていた人間関係が再度緩やかに繋がり始める瞬間を見る事が

必要なのだ。

これを書きつつあらためて気づく。実行委員の方々の活動は、まさに老若男女の縣陵生を「紡ぐ」ことだと。紡ぐとは応援すること。人を人へ紡ぐことが、先の誰かへの応援になる。「紡ぎ続けた」縣陵同窓会は、100年の通過点目前である。

大学時代は応援団長だった。でも応援活動の本番は、社会に出てから一生を終えるまでなのだ。若い時に先輩に受けた恩を後輩に返していく。この循環が社会であり同窓会だ。いくつになっても母校の「今」が気になる。この時私たちは「現役縣陵生」目線である。

出来たり。沢山の言葉を並べなくても、一瞬でその場の空気や人の関係性が変わるデザインの可能性に、私自身がとても魅了されています。

とは言え、そこにたどり着く為にかかる時間や労力は時にあまりに膨大で、不安になってしま、今は着用を余儀なくされているマスクの下でこっそり泣きながら帰る事もしばしばです。

それでも、どんな境遇の人でも最後に童心に帰ったような表情に変わる瞬間が大好きで、その小さな可能性にかけたくなくなってしまいます。胸が締め付けられるような悲しいニュースが飛び込んでくる時もありますが、いつかの画面の向こう側にもある価値観の違いの間に立って、つい笑ってしまうようなアイデアを投げられる人間になれたらと思っています。

30 Miseno-kai
Kenryo
美園会
高30回卒一同

株式会社日本M&Aセンター
成長戦略事業部 企画戦略部 参与
福井 順 (高31回卒)
事業承継エキスパート

〒100-0005 千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング24階
Tel.03-5220-5454(代表) 携帯080-3678-2041
e-mail: fukui@nihon-ma.co.jp http://www.nihon-ma.co.jp

JPX 東京プライム市場 証券コード2127
RECORD HOLDER
M&A成約件数 ギネス世界記録®

資産管理・業界情報・事業承継
ライフ・成長戦略・M&A
OWNER
【ザオーナー】

本格手打そば
信州家 特製の
仕出し弁当
店主 上條桂史 (高40回卒)
電話番号: 090-4460-5776 (店主直通)
*1万円以上配達可

信州家 そば 検索

魚と日本酒の旨い店
味彩酒房
仁
代表 岸野 裕二 (高38回卒)
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-1
Tel. 03-3234-2566

かしら焼 & もつ鍋
金太郎
もつ鍋だけは、間違いない美味い。縣陵生の皆様のご来店をお待ちしております！
代表 河野 哲男 (高38回卒)
東京都新宿区四谷三栄町 14-1 三栄星野ビル 1F
03-5379-0282 https://kintaro428.owst.jp/

100周年を前に

「縣陵」ブランドの再構築

—HPリニューアル・縣陵コネクション・
Facebookの活用—

はまだ かずひろ
濱田 和弘

(高43回卒・次期HP管理委員長)



昨年の東京同窓会実行委員会活動を通して感じていた点は、大きく言うと以下の二点でした。まず一点目としては、先の見通せないコロナ禍の状況下においても、これまで東京同窓会が築き上げ培ってきた確固たる組織や伝統に加え、新しくオンラインを取り入れ、そして諸先輩方・同窓生の熱い母校愛がその支えとなり、様々な行事が執り行われてきた点です。これだけの活動を行っている同窓会は全国でも数少なく、非常に貴重な存在であると思います。

その一方で、こういった素晴らしい取り組みをなかなか同窓生にタイムリーに伝えきることが出来ず、何度も歯がゆい思いをした点。が今後の課題として浮き彫りになった一年でもありました。

どんなに素晴らしい仕組みやシステムがあっても、それを時代に合わせて更新・アップグレードし続け

ていかねばならないのと同様に、縣陵の同窓会活動も常に状況に合わせて柔軟に対応し、発信していく必要があると感じていました。

そんな思いを強くしていた折に、次期ホームページ管理委員長のお話をいただき、いよいよ来年に迫った母校創立100周年に向けても、この機会を捉え「縣陵」ブランドの再確認と再構築を図りたいと考えています。

そのための施策の一つとして、まずはホームページのリニューアルとコンテンツの拡充を進めていく予定です。これまでの同窓会活動の歩みや同窓生の思いの詰まった現行のホームページの内容を損なうことなく引き継ぐと共に、今後は若手や松本の同窓会とも連携し、より身近にタイムリーに同窓会活動を感じてもらい、来年の100周年に向けて同窓会の思いや声を集約し、より遠くまで大き

なメッセージを届けたいと考えております。

今後の具体的な活動の一例として、既にある縣陵コネクションの仕組みやFacebookなどを活用し、縣陵同窓生同士の結びつきやネットワークを再生し強化すること、奇しくもこれは正に昨年のテーマの「結い」と今年度の実行委員会のテーマである「紡ぐ」を合わせて活動することにも繋がります。

ホームページの記事やコンテンツの作成にあたって、同窓会各委員会の皆様や、様々なテーマ毎に多くの同窓生の皆様にお会いしてインタビュー等を企画してゆきますので、皆様もどうぞ積極的にご参加ください。

その他、今年も以下の活動を継続して行うことにより100周年に向けて「縣陵」ブランドの再発見・再構築を図ります。

- 月例の縣陵オープンデー懇親会
- 縣陵OBOGによる大学生向けの業界研究会の開催
- 縣陵生ゆかりのお店めぐり (動画やレポート記事による紹介)

なお、こうした活動内容に関してはホームページや各種SNSを通じて皆様にタイムリーにお伝えしてゆきます。



TAKE IN STUDIO (テイク イン スタジオ)

昼はリモートワークスペース、夜は語らいBar

かつては江戸の台所 日本橋・神田・小伝馬町からアクセス便利
毎日が縣陵の日、新しい縣陵のスタンダード

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-11-10 Tel: 03-5843-8959

濱田 和弘(高43回卒)



Social Energy

ソーシャルエネルギー株式会社

www.social-energy.jp

代表取締役社長 片瀬 開 (高45回卒) メール: info@social-energy.jp





松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 令和3年度 決算報告

【一般会計の部】

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日 単位：円

収入の部		支出の部	
適用科目	金額	適用科目	金額
前年度繰越	302,641	総会関係支出	284,131
本部助成金	100,000	会報発行費	532,482
総会関係収入	501,000	幹事会費	98,146
会費・賛助金	311,000	総務委員会	251,865
寄付金	190,000	総会指導委員会	25,000
広告費	552,000	渉外委員会	10,514
会報あがた	480,000	広報委員会	5,000
縣陵コネクション	72,000	HP運営費	142,746
会費特別勘定繰入	1,196,000	6年委員会	0
会費繰入(年会費)	296,000	縣陵レディース	0
会費繰入(終身会費)	900,000	財政委員会	0
幹事会費	67,000	会計委員会	0
特別会計戻し(-)	-572,000	事務局	17,208
仮払金戻り	100,000	諸雑費	8,840
		TV松本オンライン	500,000
		仮払金	100,000
預金利息	8	次期繰越金	270,717
総 合 計	2,246,649	総 合 計	2,246,649

令和3年度特別会計の部

1. 会費特別勘定

前年度末会費口預金残高	7,240,137
本年度終身会費受入額	300,000
本年度年会費受入額	246,000
寄付金受入額	190,000
広告費受入額	570,000
総会・懇親会参加費受入額	33,000
オンライン参加金受入額	178,000
その他受入額	2,000
普通預金利息	45
縣陵コネクション掲載料	0
一般会計勘定繰入(-)	-1,748,000
一般会計勘定より戻り	572,000
実行委員会口座繰入(-)	-401,000
振込手数料(-)	-34,886
前受金 R4度以降年会費口含	110,000
会費口預金口座残高	7,257,296
終身会費口預金残高	5,271,027
年会費口預金残高	1,986,269

2. 特別基金勘定

りそな銀行定期預金(自由金利口)	1,634,102
内 当期預金利息	28

会計報告

令和3年度一般会計の部並びに特別会計の部を上記の通りご報告いたします。

令和4年4月11日
会計幹事 小林哲彦

会計監査報告書

会計幹事より提出を受けた帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であることを認めます。

令和4年4月11日
監事 高附 弘幸 新津 毅

会費振込みのお願い

会則第15条に基づき令和4年度の年会費のお支払いをお願いしております。同封しました郵便払込取扱票をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。

年会費 2,000円
終身会費 20,000円 (財政委員会)

令和3年度 事業報告

コロナ禍も3年目に突入しました。令和2年度の総会・懇親会は中止となりましたが、令和3年度は『結(ゆい)、時をつなぐ、人をつなぐ縣陵愛～Connecting the Dots』をテーマに高43回濱田実行委員長の下、松本ケーブルTVの協力を得てアルカディア市ヶ谷、松本を拠点に「オンライン」形式で開催し、松本や海外からのZOOM参加、過去映像・縣陵街道を行く等の独自映像を盛り込み、同時にYouTube配信を行うという時代に沿った新たな取り組みを行い、延べ約2,000回の視聴を頂き東京同窓会の日頃の活動を今迄参加できなかった同窓生にも伝えることができました。又、初めての試みに際し、同窓生の皆様から、過分のご

寄付とご支援を頂きましたことに深く感謝申し上げます。同窓会活動の基盤と言える合同幹事会、代表幹事会もZOOM開催が定着しましたが、更に同窓会活動を継続的に拡大してコミュニケーションを図るにはHP・SNS等の活用が必要になってきました。来年度はHP管理委員会を新たに立上げ、HPコンテンツの見直しなども進め、若い世代の皆さんに積極的に参画してもらえる仕組み作りに取り組んでいきます。又、コロナ禍でやむをえず中止となっていた各委員会の行事再開についても「安心・安全」対策をとりながら、再開に向け取り組んでまいります。その際は振るってご参加ください。 幹事長 三澤 政興 (高18回卒)

日ごろ、東京同窓会の運営にご協力いただきありがとうございます。

平素より、東京同窓会の運営にご協力いただきありがとうございます。

東京同窓会は、松本本部同窓会費とは別に、関東圏在住約2,500名の同窓生からの年会費、終身会費により運営されております。今日迄、676名の皆様から終身会費の納付協力をいただき、また、昨年は縣陵魂を結集し、東京同窓会の総会・懇親会を初のオンラインにて開催し、122名の皆様から年会費の納付協力をいただきました。改めて、東京同窓会の運営に浄財を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。皆様方のおかげで、年々総会・懇親会の参加人数増加や各分科会のイベント参加拡大で益々盛

り上がり、縣陵生の絆を深め広めることができました。毎年納付いただきました年会費、終身会費は各委員会の事業計画に沿って有効に活用させていただいております。

また、今年もコロナ禍ではありますが、『紡ぐ～前へ』をテーマに総会・懇親会や、1年後の松本県ヶ丘高等学校創立100周年行事に向かって財政基盤の充実を図る努力をして参ります。つきましては、東京同窓会運営にご理解いただき、まだ、年会費、終身会費の納付手続きをなされていない会員の皆様にも、同封の郵便払込取扱票をご利用いただきお振込のほどよろしくお願ひ申し上げます。 財政委員長 脇川 研二 (高28回卒)



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 令和4年度予算案

【一般会計の部】 自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日 単位：円

適用科目	金額	適用科目	金額
前年度繰越	270,717	総会関係支出	1,495,893
本部助成金	100,000	会報発行費	579,436
総会関係収入	1,500,000	幹事会費	200,000
寄付金	50,000	総務委員会	415,000
広告収入	732,000	総会指導委員会	50,000
会費収入(年)	246,000	渉外委員会	112,000
会費繰入(終身)	600,000	広報委員会	97,346
幹事会費	100,000	HP運営費	175,472
仮払戻り	200,000	6年委員会	48,000
		縣陵レディース	150,000
		財政委員会	25,000
		会計委員会	120,000
		事務局	37,000
		諸雑費	8,000
		仮払金	200,000
銀行利息	50	次年度繰越金	85,620
総合計	3,798,767	総合計	3,798,767

令和4年度事業計画

ロシアによるウクライナ侵攻がコロナ禍以上に国際情勢、社会情勢を不透明にしている中で、来年は母校創立100周年を迎えます。松本本部の準備が本格化し、募金活動も始まりしました。東京同窓会でも本部支援の他、独自の企画案を検討していきます。Withコロナの時代、令和4年度の総会懇親会は高44回松沢実行委員長を中心に、『紡ぐ～前へ』のテーマの下、分断された現在の社会、会えない友や故郷、会うことの制限等規制がまだ続きますが、「対面形式」の総会・懇親会を企画検討しています。とは言え、第7波による緊急事態宣言等が発令された場合は中止を含めて対応していきます。これからの新しい社会、新しい結びつきや多様性の中で、母校を軸に同窓生同士の交流、繋がりを探しつつ「安全・安心な対面」を実現したいと思います。

創立100周年記念事業に向けて何かと出費が重なりますが、引き続き東京同窓会へのご支援ご協力をお願い申し上げます。
総務委員長・幹事長補佐 ももせ たけあき 百瀬 健昭 (高27回卒)

母校創立百周年記念事業へ募金のお願い

■募金の概要

①募金名称

長野県松本県ヶ丘高等学校創立百周年記念事業

②目標金額 8,400万円

主な使途 (仮称)アカデミー館建設事業 6,000万円
(仮称)あがたの和泉掘削事業 500万円
Wi-Fi 環境整備事業(既設) 1,000万円

③募金の期間 令和4年2月～令和5年9月

④募金の区域及び範囲 全国

⑤募金額 一口1万円以上

(一口未満のご寄付も有難くお受けいたします)

⑥募金の送金方法

ア. 郵便振替口座

イ. オンラインを利用した振込み

ウ. ウェルネット社の振込み

※送金の詳細は、お手元に配布されました
創立百周年記念事業【募金趣意書】を
ご覧ください。

⑦お問い合わせ先

創立百周年記念事業実行委員会

TEL 0263-32-0666 FAX 0263-32-0666

Mail : info@kenryo.org



創立百周年記念事業シンボルマーク

デザイン: 今井 葵子さん

(母校在校生)

母校創立100周年記念事業委員会 委員長 太田 稔(高26回卒)



MITSUI HOME

甲信アルプスホーム株式会社

最高顧問 百瀬方康 (高22回卒)

松本市笹部1-3-6 TEL.0263-28-3131

バリアフリーと車坐コンサートの宿
信州/松本浅間温泉



〒390-0303 松本市浅間温泉1-28-16
Tel 0263-46-0573 Fax 0263-46-5178

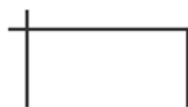
山崎 広太・礼美

(高54回卒) (高57回卒)



福の会

29 の かい
東京同窓会高29回卒一同



KAMIMURA
ARCHITECTS +
ASSOCIATES

一級建築士事務所 株式会社カミムラ建築研究室

代表取締役

上村 英成 (高45回)

執行役員東京設計室室長

平林 昌倫 (高44回)

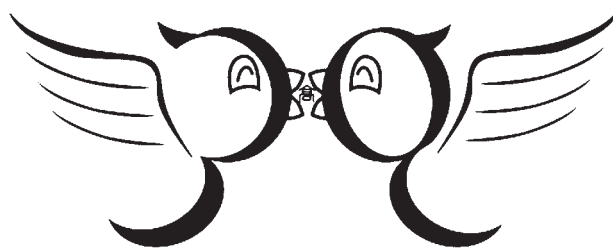
本社 390-0814 松本市本庄2-8-1

0263-32-4268

東京事務所 101-0048 千代田区神田司町2-9-1 5F

03-5577-4246

**Hello!
We are
Thank You
KENRYO-Kai!**



高校39回卒業生の会 **サンキュー縣陵会**

想いの数だけ結いでいく

縣陵 42 回卒業生同期会
agata.42kai@gmail.com

あがた42会

BROWN DIAMOND

Kashikey
Diamonds, Colored gemstones, Pearls and Fine Jewelry

株式会社 柏圭 代表取締役 田口和也 [高38回卒]
東京都港区新橋2-19-3 〒105-0004 TEL 03-3575-0810
<http://www.kashikey.com>

人にやさしいまちづくり

株式会社グラフィック

本 社 〒390-0831
東京本社 〒130-0026
千葉営業所 〒190-0022
<https://www.gpc.co.jp/>

長野県松本市井川城 3-3-8-5 TEL 0263-25-7668
東京都墨田区両国 1-3-8 TEL 03-5669-0292
千葉縣市川市二俣 1-2-1-205 TEL 047-311-4898

代表取締役 浅井俊貴 (高38回)
取締役 百瀬 晃 (高42回)
東京本社 金森孝至 (高42回)
松本事業所 丸山善大 (高62回)

GRAPHIC

株式会社 上條石材工業

代表取締役 上條 尚英 (高45回卒)

本社・工場
〒390-0851 長野県松本市島内 1666 TEL 0263-47-2398
東京営業所
〒164-0012 東京都中野区本町 4-48-17 新中野駅上プラザ 2F
TEL 03-5328-1265

高29回卒 横田尚江
高35回卒 木下匡晃

信州松本・大名町のはんこや

有限会社 木下製印社
松本市大手3-3-5 (八十二銀行前)
TEL (0263) 32-2665
URL <http://www.inshop.co.jp>
営業時間 AM8:30~PM7:00
定休日 日曜・祭日・土曜の夜